



わ

小児救命講習

が子の命を守るために

9月20日、子育て支援センターで『小児救命講習』が行われ、子どもを持つ8人が参加し、厚岸消防署の救急隊員を講師に、心肺蘇生の手順を学びました。

テキストを見ながら説明を受けた後、AEDを子どもに使用する場合の対応を学んだほか、人形を使用し、胸部圧迫に挑戦。圧迫の強さや人工呼吸をしたときの空気の量などを救急隊員から指導を受け、わが子の命を守るための救命処置を身につけました。

さ

巡回展『宇宙をさわる』

わって宇宙を感じる展示

9月10日から、海事記念館において、巡回展『宇宙をさわる』が開催され、10月2日まで展示されています。

地球や月、惑星などの模型や、宇宙を観測する望遠鏡の立体模型が展示されており、実際に触れて大きさや形を感じることができます。

また、解説パネルには点字も使用され、目の不自由な人でも楽しめることから、幅広い年代の来館者が足を止め、展示物に触れながら宇宙に思いをはせました。



お

人権教室

もいやりとやさしさを大切に

9月15日、厚岸町人権擁護委員を講師に迎え、真龍小学校の3年生48人、5年生42人を対象に『人権教室』が行われました。

5年生を対象にした人権教室では『無人島ゲーム』と題し、無人島で生活するには何が必要か話し合った後、グループごとに発表し、多かった意見を共有しました。子どもたちは話し合いの中で、それぞれの意見が違うことを認め、尊重することの大切さを学びました。

迫

第34回厚岸町吹奏楽フェスティバル

力ある演奏で観客を魅了

9月4日、新型コロナウイルスの影響により2年連続の中止となっていた『厚岸町吹奏楽フェスティバル』が、3年ぶりに社会福祉センターで開催されました。

本フェスティバルには、厚岸中学校吹奏楽部、真龍中学校吹奏楽部、厚岸翔洋高等学校吹奏楽部、厚岸町吹奏楽団の4団体が出演し、日頃の練習の成果を発揮しました。

邦楽・洋楽を問わずさまざまな楽曲が披露され、大迫力の演奏は会場を大いに盛り上げました。

